

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日互惠互助の読み合わせをすることで、理念の共有、意識するようになった。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に入り、情報共有は行っているが、コロナ感染の影響で交流は出来ていない。しかし毎月なるみ通信は発行して、地域との関連性の継続を図っている	交流はできなかったが、関係性を継続するために、自治会長さんとの連絡が密にできた コロナが収まった10/31には除草作業に地域の方が来て下り、大変助かった		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフの参加は出来ていないが、内容はリーダー会で報告、チーム運営に生かしている	会議議事録など家族にも発信をしている。特に言葉の抑制について、リーダー会でも話し合い、取り組みについても検討をしています		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者とは顔なじみの関係になっている。 スタッフが直接交流をすることはないが、相談連絡は常に出来ている	職員の交流はないが、相談連絡が出来ている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に1回身体拘束適正化委員会を開催、協議をしている。研修会も年2回実施し、常に意識をしてケアに取り組んでいる		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会実施して、更に理解を深めてほしい。また、職員のコミュニケーションが取れていることなので、素晴らしいことである
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	エリア内研修や事業所内研修を行い、職員間でも意識をして防止に努めている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小さなことでも意識して、声を掛け合う。相手の気持ちを理解する介護者の精神状態等大切にしている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会で学ぶ機会があり、必要に応じ関係機関と相談をしながら進めるようにしている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	契約書や重要事項説明書を基に説明をし、不安等を伺ってから締結をしている。またカンファレンス時にも伺うようにしている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	ご意見箱の設置、カンファレンス来苑時等にご意見など伺うように声をかけている。伺った内容はチームや施設全体で共有し報告している		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	意見や苦情は宝です。キチンと耳を傾けましょう
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	食事の提供等について、職員からの意見を聞いて見直しに繋がったまた、そのことは運営推進会議やご家族へもお手紙で出している			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	毎年DOCAPの目標を立案し業務に取り組んでいる。年2回の面談もある。資格取得の支援制度や皆勤賞などもある		<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	法人の体制を活用して、定期的または随時管理者として職員の育成や相談に心がけている 能力に応じた研修等を勧めている
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	研修など受けてほしい人へアプローチして参加。eラーニングなどリモート研修に参加できるよう体制が出来ている		<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	新人にはエルダー制度、段階別研修など、力量に合わせた研修への参加を促し、参加できる体制を整えている
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	他部署主催の研修会に参加の機会等出来ていたが、コロナ禍のため活動が出来ていない。相互交流や体験実習を計画していきたい			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	常にコミュニケーションをとりながら関係性を気づいている。一緒に行くまた、利用者同士でレクが出来る環境も整えている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍馴染みのところに出かけることは出来ていない。なるみ通信やお便りを郵送、またリモート面会をして関係性が途切れないように努めている	コロナ禍出かけることは出来ていないが、なるみ通信を毎月地域などに発行して、関係性が途切れないように努めている。運営推進会議にてなるみ通信の一覧を回覧してもらう		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の思いを聞き、プランに反映している。また、日々選択が出来る言葉かけをして、意思を伝える環境に努めている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の気づきを記録、3ヶ月に1回モニタリングを行いチーム会やミニカンファレンスにて課題を検討している、現状に合った支援方法に常に変更が出来る	3ヶ月に1回のモニタリング、本人の心身状況を家族と共有。6か月に1回のカンファレンスを実施。コロナ禍で面会が出来なくなったが、家族が来ないことに不安になったことはなかったか。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	計画作成担当者を中心に利用者の状態に沿った支援内容を、ご家族や本人の意向も取り入れて、計画書を作成している。個別支援を盛り込んでください
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日個人記録に様子を記録、職員間で情報共有し検討、モニタリングに反映させている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録は明確に、具体的に、又、要約して分かりやすく記載しましょう
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状況状態に合わせて、多職種と連携を図りながら、支援が出来る。	なんぶ幸朋苑には、多職種の職員がいますので、いろんな面で連携が出来ている。また相談等に対応してもらっている		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物や美容室、公民館活動など積極的に参加出来ていたが、コロナ禍のため実施出来ていない。	コロナ禍のため、地域資源の活用や参加することが出来ていない。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までのかかりつけ医の継続または、希望のかかりつけ医に変更。協力医院と連携をして往診受診が出来る			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は入院時には情報提供書を持参。入院時から医師看護師連携室と情報交換を行い、早期の退院に向けて連絡を常にとっている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時から医師看護師と連携をしている。早期の退院に向けて連携室等に連絡を密にしている。入院時には情報提供書と名刺を必ず渡しているため、迅速な情報共有を継続しましょう
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスごとに意向の確認をし、事業所でできることを説明している。また医師や専門職とともに支援をしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時から医療意向確認を伺っている。重度化した場合や終末期などについても、カンファレンスごとに確認を行う

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる					ている。本人、家族に寄り添い満足のいくケアの実践をしましょう
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の対応について、フローチャートを活用し対応方法を伝えている。救急法については年1回講習もある			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災の避難訓練は年2回、水害の避難訓練も全員避難の訓練を実施した。エリアの協力体制も確認できた	火災の訓練はもとより、水害時の訓練を実施。今回は全員がなんぶへ避難をしたことで、色んなことが見えたと思うので、更なる体制を整えていく	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の観察や状況把握も大切に
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尊厳について、チーム会やリーダー会で話し合いをし、日々心掛けた対応をしている。またお互いに注意をしあう風土を作っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉の虐待予防についてチェックノートを活用してお互いの言葉かけを注意しあう風土を大切にしている。Eラーニングでの勉強会も実施中
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの体調や気持ちに配慮して支援を行っている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	配食を取り入れたため、一緒に作る事は少なくなったが、汁の具材切や盛り付け、配膳や下膳片づけなどしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事をゆっくり楽しむ。おやつ作りなど一緒にされてはどうか
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養補助食品を活用したり、好みの飲み物を伺って提供したり、嚥下状態に合わせた対応も出来ている			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後自室での支援が出来ている。口腔状態によっては専門職に繋げて支援をしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後自室で支援が出来ている。口腔状態によっては、直ぐに専門職に繋げている。継続していきましょう

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の排泄パターンを確認しトイレでの排泄が出来るように支援をしている。便秘予防も個々にあった対応をしている		A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレでの排泄が出来るように支援をしている。便秘予防も行うも、下剤の服用の方も多くなった大変な支援ですが根気強く支援していきましょう
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者のタイミングに合わせて入浴の案内をしている。支援の必要な利用者も多く、ボードやシートも活用をしている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に応じて自室にて休息をとっている。環境面も整えて安眠できるようにしている(室温、明かり、清潔)			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の薬の一覧表を作成して、情報共有が出来ている。症状の変化は都度医師に報告し対応している		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の一覧表を活用して、情報を共有している。薬の内容も理解できている
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合わせた役割を提供、嗜好品も選択してもらっている。外への気分転換の散歩等出来ていなかったが、ゲームや脳トレなど利用者同士でも出来るように支援している	手作業や脳トレ、体操などデイルームで出来ることを毎日実施している。また、庭の草取りを自分の仕事としている人もある		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	買い物や植物園など外出がコロナ禍で出来ていない。感染対策を行いながら、本人の希望を叶えられるように外出の支援を復活させていきたい	コロナ禍で戸外に出かけることはできなかった。ドライブをするのがやっとだった。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	手元に持ちたい方は持っているまた、販売に来る業者から直接自分で選んで買うこともしている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月お便りで様子を伝えている。家族から絵手紙が届き、手紙を書いたり、電話をしたりリモートで話すことも出来ている			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の飾りつけをしたり花を生けたり季節感が感じられる空間を作っている。利用者の作品を展示したりして制作意欲にも繋げている		A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	デイルームの壁は季節のレイアウトになっている。いつも玄関には生花がある 家族とのつながりが途絶えることのないよう支援をしてください
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日意向に沿った対応をしている。また、習慣として選択が出来る言葉かけをしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には生活歴や趣味など本人や家族に伺いケアに繋げている。またプランの更新時には意向を聞いてプランに反映をさせている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内科、皮膚科、歯科と連携を深め、日々の状況を共有し支援が出来ているまた、専門職にも関わってもらい評価を随時受けている		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ちょっとした変化にもすぐに対応出来るように、日々の様子を把握していることが大切。各種医療機関と協力体制が出来ている。継続していきましょう
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仏壇に花を供える。庭の草取りをするなど自分のペースで出来ている。認知症の進行に伴い出来なくなった方もある			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には、馴染みのものを持ってきてもらうようにしている。また、家族との写真等も掲示している		A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みのものを持ってきてもらっているが、徐々に興味が薄らいでいる方もある。再アセスメントを試みるのもよいのでは

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍できていない。が、今後は感染対策をして、地域の祭りや買い物等に、墓参りなどにも行けるようにしていく	コロナ感染症予防のため、積極的に出かけることが出来ていない。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々なことを提供することで、自分もやりたいと意思表示をされ一緒に行動することが出来ている			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士の会話をしたり、ゲームをしたりして、大きな笑い声を聞くことが出来ている		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士の会話があること、また、繕い物がしたいなど自ら言ってこられるなど、日々の生活が垣間見られている。日々の観察からあらたな発見を。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍地域へ出かけることは出来ていない。同じホームの他ユニットの利用者との交流は喜ばれている	施設外のかたとの交流はほとんど出来ていないがホーム内の利用者の交流は出来ている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここで良かった、表情が全く違うと家族から言っていた。利用者や職員と一緒にすることで、信頼関係も築けている	面会時に利用者の表情が、明るくなったと言ってもらった。ここで良かったです。待っていてよかったと言ってもらった	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日笑い声のある生活がある。職員と一緒にすることで、出来なかったことも出来るようになり、喜びとなっている。本人の笑顔続くように支援を。